

2025 年度版

学習支援塾



学習特性への対応

発達特性 (ASD・ADHD・LD・DCD) への対応

不登校相談



小学校 1 年生から高校 3 年生まで

静岡教室

清水教室

[たのがく静岡教室]

〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1-36 渋川ビル 2 階

☎ 054-247-0999 (総合受付)

☎ 090-3070-2522 (教室直通)

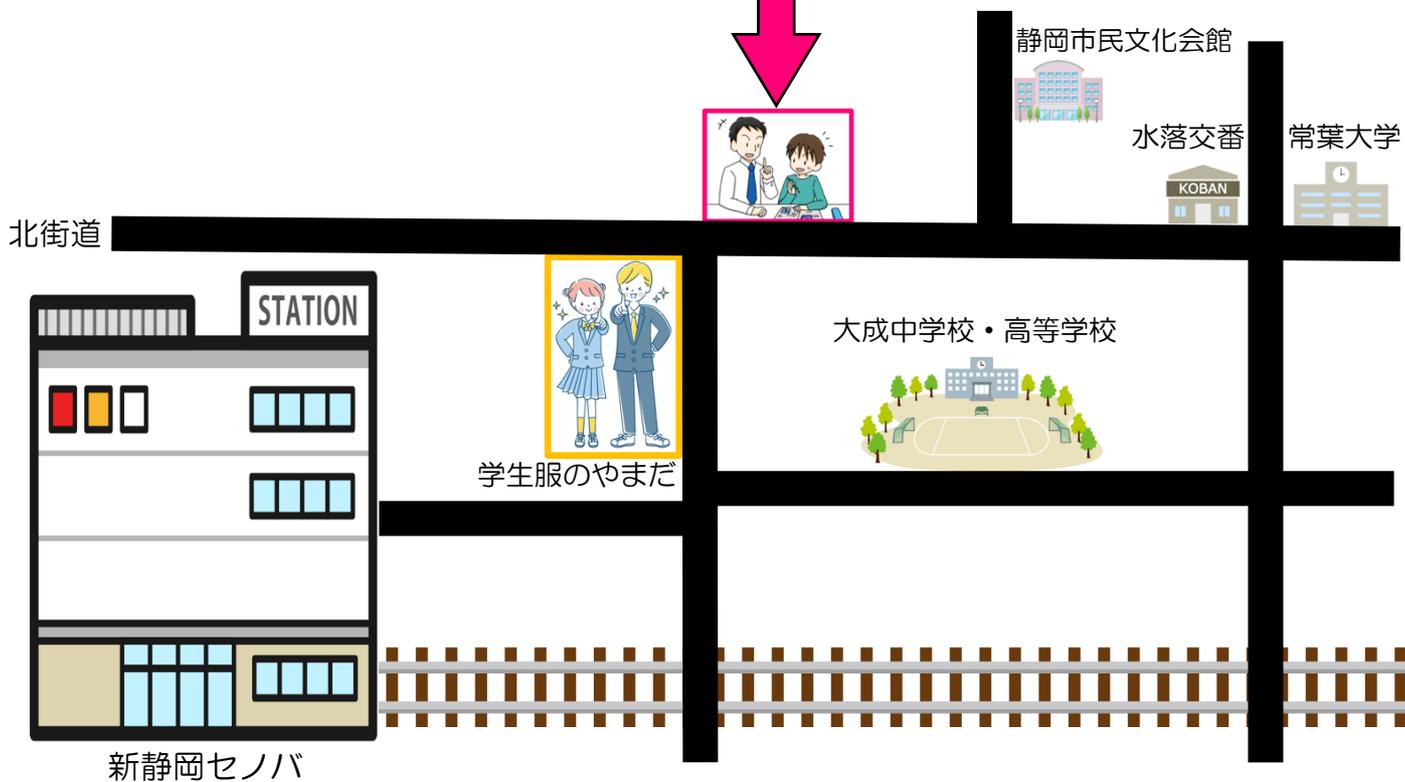
営業日の学習支援時間内のみ

✉ tanogaku.szk@gmail.com



- (静鉄) 新静岡駅から徒歩 3 分
- (JR) 静岡駅から徒歩 10 分

たのがく静岡教室(渋川ビル 2 階)



[たのがく清水教室]

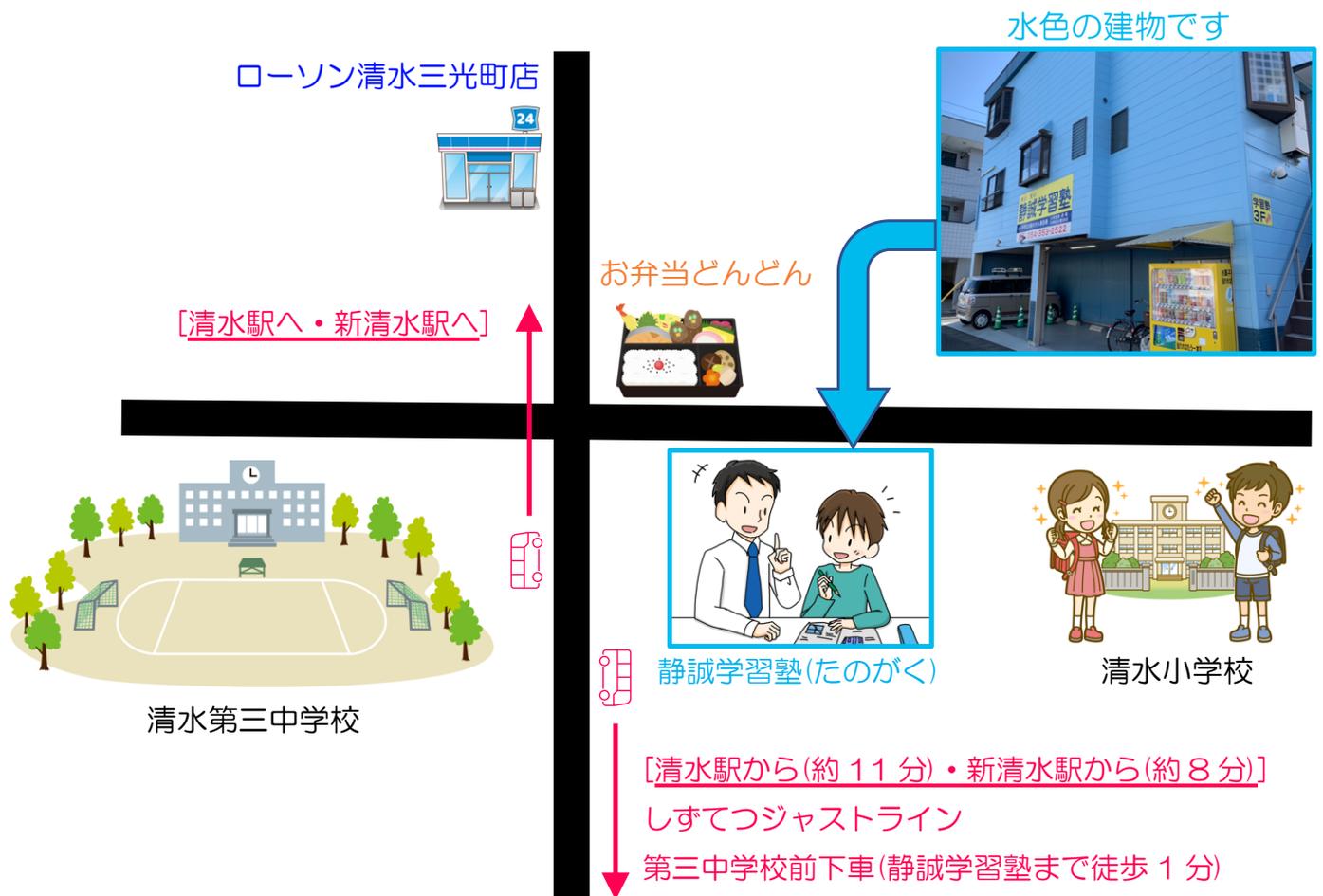
〒424-0946 静岡市清水区八千代町 8-1

 054-353-2522 (総合受付)

 090-3480-2522 (教室直通)

営業日の学習指導時間内のみ

 tanogaku.szk@gmail.com



たのがくってなに？

最近では「大人の発達障害」という言葉が広く知られるようになり、発達障害に対する世間一般の認知度が以前よりは高まりました。しかしながら、未だ決して十分に理解・対応がされている状況とは言えません。発達障害の一例として、「ASD・ADHD・DCD」だけでなく「限局性学習症(学習障害・LD)」も知られていますが、小学生・中学生・高校生への限局性学習症に対する理解や対応も、まだまだ不十分な状況であると感じられます。

また、人間関係でのトラブルや学業不振に限らず、様々なことがきっかけとなって不登校になる子どもさんは、全国的に年々増加傾向にあります。

文部科学省のデータでは、不登校の子どもさんの割合は学年が進むにつれて高まり、中学校3年生が最多となっています。そして、実際に不登校となっている子どもさんへの調査では、不登校を選択した理由として、「授業の内容がよくわからない・授業についていくことが難しい」と答えた子どもさんの割合が約50%と半数を占めています。

「学校へは行きたい」でも「勉強についていける自信がない」というように、「学校には行きたいけれど、行くことができない。」という子どもさんが、特に小学校の中学年以降に多く存在します。また、学業とは関係なく人間関係のトラブルなどにより、学校での居場所の確保が難しくなっている子どもさんも決して少なくありません。

このような状況を少しでも改善したいと考え、「学習に困難さを感じている子どもさん」や「不登校で悩まれている子どもさん」への「学習支援」や「安全で安心できる快適な居場所の提供」、そして「保護者様を支えることができる存在」が必要であると考え、「学習塾運営のノウハウ」と「放課後等デイサービス運営のノウハウ」を融合し、「学びを楽しもう！」・「学ぶことって楽しいんだよ！」をモットーとした学習支援塾である「たのがく」のサービスを開始いたしました。

合同会社 Webcila
代表 生井和彦

たのがくの無料相談

「学習における困難さ」や「学校生活や日常生活での困難さ」、「不登校に関するお悩み」に限らず、保護者様が感じられている様々な疑問やお悩みなどにつきまして、ゆっくりと時間をかけてお聞きするだけでなく、保護者様や子どもさんと一緒に改善策などを考えたり、ご希望に応じて各種連携機関などにもお繋ぎしたりいたします。

私たちは無理に入塾をおすすめするようなことは決してございませんので、まずはお気軽にご相談ください。

※「無料体験開始前の初回相談・無料体験終了時の状況説明やご提案・入塾後の保護者面談」につきましては全て無料となります。

たのがくの各種検査(別紙参照)

たのがくでは、「一人ひとりの子どもさんに合う学習支援」を提供するため、以下の検査につきましては希望される方を対象に実施をしております。

ぜひ、お気軽にご相談くださいませ。※各種検査の実施時に「生育歴」や「ご家庭や学校などでの普段のご様子」をお伺いしたり、WISCなどの各種検査結果を確認させていただいたりする場合もございます。

**「診断」は医師のみに認められている行為となりますので
たのがくでは「検査のみの実施」となります**

(注)「①WAVES 検査・②URAWSS II 検査・③URAWSS-English 検査・④特異的読字障害検査・⑤特異的算数障害検査・⑥MIM 検査」につきましては、「たのがく・静誠学習塾への通塾」をされている場合には「検査 1 種類あたり「税込 3,300 円」となりますが、「上記に該当しない場合」には、検査 1 種類あたり「税込 6,600 円」にて承っております。なお、検査実施後 40 日以内(検査実施日を初日と規定)に「たのがく・静誠学習塾への通塾」を開始された場合や、弊社連携機関への通塾や通所を開始された場合には、通塾・通所開始後 10 日以内に弊社より半額を返金いたします。(お振り込みでの返金を希望される場合、振込手数料はご負担ください)

※「入会金・授業料」などの「初期費用」を納入いただいた日を「通塾開始日」と規定します。

たのがくの支援方法は？

[(1) たのがくの支援に対する考え]

①勉強はした方が良いの？ しなくても良いの？ 支援員の存在とは？

保護者様の中には、「テストで得点が取れないのなら、勉強をしても無駄ではないだろうか。」とお悩みになる方もいらっしゃるかと思います。確かに「発達特性が学習内容の定着を阻害する」ことにより、「勉強に取り組んだ時間・努力」に対して満足のいく得点を取ることは難しいかもしれません。だからといって「勉強をしなくても良い」という結論は正しいと言えるのでしょうか？

たのがくでは、「勉強」よりも「学び(学習)」の大切さを重要視しています。

一般的に、「勉強」と「学び」は同一の言葉として使われることが多いのですが、実際には全く異なるもので、イメージとしては以下のような感じです。

勉強	勉強＝勉め強いる(どんなに嫌なことであっても仕方なく行う) ・テストなどのために知識を増やす。
学び	学ぶ＝真似ぶ(能動的に知ろうと取り組む)※諸説あり ・今までわからなかったことがわかるようになる。 ・新しい経験によって、今までできなかったことができるようになる。

「たのがく」の「がく」は「学び」の「学(がく)」、「たのがく」の「たの」は「楽しむ」の「楽(たの)」が由来となっており、たのがくでは支援員が子どもさんに寄り添い、学習の苦手さをサポートしながら一緒に学びを進めていきます。

子どもさんの将来のためにも、「学び」・「学ぶことができる環境」を放棄しないことが大切なのではないのでしょうか。

また、多くの子どもさんが支援員に「学校であったこと・友達とのこと・家庭でのこと・趣味や悩み」などについて話をしてくれます。

学習とは直接関係の無いこのような時間が、子どもさんにとっての「気持ちの安定」にもつながっているため、たのがく支援員は、子どもさんとの対話をとても大切にしています。

〔②学習支援〕

学習に対する意欲を下げってしまうだけでなく、不登校になる要因の多くを占めている「学習の困難さ(授業がわからない・学習についていけないなど)」においては、いま学習している内容が理解できないからといって、単純に「取り組む問題・学習内容」の難易度を下げて支援をするだけでは、何の解決にもなりません。

学習を進める際の障壁となっている要因を精査(アセスメント)し、「どの学年」での「どの学習内容」でつまづいているのか、「見る・読む・聞く・書く・話す・考える」のどこに要因があるのか、または「その他の障壁」が要因となっているのかを支援者が理解・把握し、「その障壁を乗り越えさせる」・「その障壁の高さを下げる」・「その障壁を取り除く」ということをしなければならぬのです。

そして、このように個々で異なる障壁への対策をすることによって、子どもさん自身に「できた!」・「自分はできるんだ!」・「わかるって楽しいんだ!」という感覚を繰り返し体験させることが、子どもさんの「学習に対する自己肯定感」を高めていくだけでなく、そのような体験の中で「自分自身にできること」・「うまく取り組めないこと」に対する自己認知ができるようになり、少しずつ「自分自身を受け入れる」・「うまく取り組めないことに対するサポートを求められることができる」ことへと繋がっていくのです。

〔③不登校支援〕

不登校になる要因は様々なのですが、それらの要因の一つに、不登校の子どもさんにとって、「学校は安全・安心・快適な居場所だ」と感じる事が難しい状態であることが挙げられます。対人関係や学業に悩み苦しむ、心身ともに疲れ果てた状態となり、それでも頑張って学校に通おうと努力した結果、「頑張ろうとするエネルギーが枯渇してしまった状態」であるとも言えるのです。

このような場合、まずは子どもさんにとって拠り所となる「ほっとできる場所」・「なにもしないで自由に過ごすことができる時間」・「サポートを受けながら学習に取り組むことができる環境」を用意し、十分な時間をかけて心のエネルギーを回復させることが大切なのです。

このような理由から、子どもさんの状態によっては「たのがくで落ち着いた時間を過ごすこと」を最優先していただき、当面は学習に取り組ませることなく、まずは「心の回復」を目指す場合もございます。

※たのがく以外の、「より子どもさん本人に合った支援機関」を紹介させていただく場合もございます。

[(2) たのがくで実施する基本アセスメント]

① 認知処理の確認

語彙・音韻処理・数量計算・ワーキングメモリなど

[たのがく実施アセスメント]

WAVES・WISC-V(連携機関にて実施可)・KABC-II(連携機関にて実施可)



② 基礎学力の確認

読み・書き・計算など

[たのがく実施アセスメント]

URAWSS-II・URAWSS-English・特異的読字障害検査
特異的算数障害検査・STRAW-R(連携機関にて実施可)



③ 教科学習内容の確認

[たのがく実施アセスメント(主なもの)]

算数力詳細確認テスト・国語力詳細確認テスト・英語文法力確認テスト

「保護者様との面談時にお伺いする内容」を元に、希望される方を対象として上記のアセスメントを実施し、「子どもさんの学習における苦手さの要因」を精査・分析して、その後の学習支援に活用してまいります。

[(3) たのがくでの学習]



学習を進めるうえでの障壁は、「学習内容そのもの」の中にあるとは限りません。

「見る力・読む力・聞く力・書く力・話す力・考える力・手指の巧緻性」などを多面的に支援することに加え、「自身の得意な力を利用して苦手な力を補う」という考えも必要なのです。

たのがくでは、「在籍学年での学習内容」に関する支援はもちろんのこと、学習のつまずきとなっている要因を精査し、必要に応じて「つまずきが見られる学年」にまで学習内容を遡り、子どもさんの学習理解度に応じて「本当に必要な学習内容」に絞って指導をするだけでなく、「電卓・タブレット・パソコン」などをサポート機器として使用したり、書くことに拘らない学習方法を取り入れたりすることによって、多方面から学習と向き合う力を養っていくことに加え、学習に対する負担を軽減しながら「できた！」を実感させていきます。

また、不登校からの復学を希望される子どもさんに対しましては、復学時に小中学校での学習に対する遅れが出にくいようにもサポートをしております。

[(4) たのがくでのデジタル学習教材活用]



たのがくでは、デジタル学習教材 eboard を導入しておりますので、「好きな科目や得意な科目は先取り学習をする」・「学年を遡って苦手な単元の復習をする」などのように、気軽に自分の学びたい単元の学習に取り組むことができます。また、個別に ID とパスワードを発行しますので、ご家庭での自主学習などにも活用いただくことができます。

eboardの特徴

- 無料で全ての学年の学習を利用できる。(毎月の「利用料・寄付金」は弊社が負担いたします)
- 所属学年に関係なく、「予習・復習」のどちらにも利用できる。(学年を遡っての学習も可能)
- 得意科目や好きな科目において、現在までの学習内容を理解できている子どもさんであれば、どんどん先取り学習に取り組むことができる。
- 学習内容が「基礎的内容」に特化しているため、各単元を短い時間で学習することができる。
- 1つの動画を数分間(5分~7分ほど)で見ることができるため、集中力が持続しやすい。
- 単元ごとに「動画・練習問題」が用意されているため、「動画を見て理解できたら、すぐに問題に取り組む」ことができる。
- 同じ問題に何回でも取り組むことができる。
- 動画を見ての理解が難しい内容については、支援員から追加指導・説明を受けることができる。
- 全ての生徒さんにIDを発行するため、ご自宅での学習や塾での自習などにも利用できる。
- 子どもさんの学習進捗状況を、支援員がリアルタイムで把握できる。
- ご自宅に「インターネット環境・インターネット環境に対応した機器(パソコン・タブレット・携帯電話など)」があれば利用可能。
※機種や科目、単元によっては正確に表示されない場合もございます。
- eboard 専用の問題集(有料)が用意されているため、入力ではなく「書いて解く」こともできる。
※プリンターをお持ちの場合には、ご家庭で印刷してご利用いただくことも可能ですが、枚数が膨大になってしまう場合がございます。
- 専用ノートを使用しない場合、基本的には「タッチやクリックでの解答選択・キーボードでの解答入力」となるため、書くことに困難さを感じる子どもさんでも学習に取り組みやすい。
- 「書く」という作業が激減するため、同じ時間でより多くの問題に取り組むことができる。
- 解説に字幕を付けることが可能なため、聞くことに困難さを感じる子どもさんでも学習に取り組みやすい。

[(5) たのがくの自習教室]



「支援日としてお越しいただいている曜日以外のお日にち」にも、たのがくを「自習教室」としてご利用いただけるようになっております。(無料でご利用いただけます・要事前予約)

「小中学校からの宿題などに、なかなかご自宅では取り組めない」というような場合や、「ご自宅とは違う環境で学習に取り組みたい」というような場合に、ぜひご活用ください。

[(6) たのがくの延長学習対応]



「提出期限が迫っている学校の宿題に取り組みたい」・「定期テスト学習に取り組みたい」・「もう少し残って学習をしていきたい」というような子どもさんの「頑張りたい!」という気持ちを大切にしたいため、長期休暇期間を含む全ての「たのがく営業日」において、「たのがく指導後のお時間での延長学習」に対応いたします。(要事前予約・有料)

[(7) たのがくの学習報告書]



支援員が「子どもさんの集中度・学習した内容・学習状況や理解状況・つまずきが見られる単元・考えられる支援方法・他の支援員と共有したい情報」などの詳細を記録します。そしてその記録をもとに、子どもさんに対する支援を常に最適化してまいります。

表 「学習状況・理解状況」の報告書

※①生徒が赤枠部分のみ記入をする(両面とも)
 ※②両面に記入をして支援員に提出すること

[記入日] 20 年 月 日 ()

[生徒氏名(生徒記入)] [学年] 小学校・中学校 [] 年生

[1 限目] 集中力 [0 1 2 3 4 5] [記入支援員名][] ※支援員は青色で記入すること。
 [使用教材・学習した内容・学習範囲など]

[学習状況・理解状況]

[要報告事項・考えられる対処方法など(必ず記載してください)]

[備考記入欄(1 限目の内容・支援員記入欄)]

[記入日] 20 年 月 日 ()

[生徒氏名(生徒記入)] [学年] 小学校・中学校 [] 年生

[2 限目] 集中力 [0 1 2 3 4 5] [記入支援員名][] ※支援員は青色で記入すること。
 [使用教材・学習した内容・学習範囲など]

[学習状況・理解状況]

[要報告事項・考えられる対処方法など(必ず記載してください)]

[備考記入欄(2 限目の内容・支援員記入欄)]

[その他・要共有事項など(支援員記入欄)]

[(8) たのがくの読書スペース]



読書には、「語彙が増える」・「文章力が養われる」・「教養や知識が身につく」・「想像力が豊かになる」だけでなく、「リラックスしやすい状態を作り出せる」という良い点があります。

しかし、無理強いされた読書では、上記のような効果は期待できません。

たのがくでは、「まんが日本の歴史」をはじめ、「教養」・「雑学」・「図鑑」・「物語」などの様々なジャンルの書籍をご用意しておりますので、「その日の学習に疲れた」・「興味のある本を見つけた」・「知りたいことがある」というような時に、子どもさんが気軽に手に取って読書を楽しめる環境となっています。また、椅子に座っての読書にこだわらず、寝転がっての読書ができる環境をご用意するだけでなく、たのがくでの支援日以外のお日にちにも「たのがくへ好きな本を読みに来る」という「気軽に読書を楽しめる環境」をご用意することによって、本を読むことに対する気持ちのハードルを下げるよう努めております。

(定期的に蔵書を追加してまいります)

[(9) たのがくのリラックススペース]



休み時間や学習に疲れたときなどに、横になって体を休めることができるスペース(約6㎡)をご用意しております。ほんの短い時間でもリラックスできる環境に身を置くことにより、気持ちをリフレッシュさせて学習に取り組むことが可能になります。

(リラックススペースの設置は静岡教室のみとなります)





〔(10) たのがく の進路指導と中学卒業後のサポート〕

弊社の学習塾部門である「静誠学習塾」と連携をし、「子どもさんの学力や特性・将来の希望や目標」などに合わせて、「静岡市内・静岡県内の私立中学校・各種高校(私立・公立・通信制)」への受験対策のみならず、「静岡県外の通信制高校」への受験に関しても、「進路決定に必要な多くの情報を提供させていただく」・「高校と保護者様・子どもさんの間を取り持ち、子どもさんに適する学校の提案をさせていただく」などのサポートをしております。

また、弊社の高校生部門である「凸育支援塾 Grip」では、各種高等学校への入学後の「学業・レポート作成」などに安心して取り組むことができるよう、そしてスムーズに進級・卒業ができるようにもサポートをするだけでなく、わせがく高等学校の提携認定校として高校進学へのサポートをまいります。

凸育支援塾 Grip(たのがく高校生部門)は
「わせがく高等学校」の提携認定校です

通信制の高等学校のデメリット(困難さ)として、「自ら学習時間を確保して学ぶ必要がある」ことが挙げられるのですが、中学時代まで慣れ親しんだ「たのがく」内の「凸育支援塾 Grip(わせがく高等学校提携認定校)」に通うことにより、「高校入学後の学業・レポート作成・定期テスト対策」などに対して、支援員からのサポートを受けながら、日々の学習に安心して取り組むことができるため、無理なく **高校卒業資格を取得** することができます。

通学選択式・通信制普通科
学校法人 早稲田学園



わせがく高等学校

<https://www.wasegaku.ac.jp>

✧ 「わせがく」で検索してください ✧



左の QR コードからもアクセスできます

その他に たのがく でできること

[(1) たのがくのプログラミング]



2020年度より小学校で、2021年度より中学校でプログラミング教育が必修化されています。プログラミング教育というと、将来IT企業に勤めることを考えていない人にとっては、特に関係のない話のように思われるかもしれませんが、しかし、プログラミング教育は「順序立てて考え、試行錯誤し、ものごとを解決する能力」を身につけるために学ぶものであり、これは学習療育の一環としても、たいへん効果的なものです。

たのがくでは、子ども達に人気の「マインクラフト」を題材としたプログラミングソフトを使用し、楽しみながらプログラミング感覚を身につけさせていきます。(別紙参照)

[(2) たのがくのお預かり]



「平日の学校休業日」や「春休み・夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の日中(平日)」に子どもさんのお預かりをし、このお預かり時間内で「各小中学校からの宿題サポート」を実施いたします。(要事前予約・有料)

※宿題サポートを希望されない「お預かりのみ」にも対応いたします。

[(3) たのがくのPCテーマ学習]



決められたテーマに沿って調べ学習をするのではなく、「自分が興味を持っていること」を「自主的に調べてまとめる(レポート作成)」ことにより、楽しみながらパソコン操作やWordの使用方法を身につけることができるだけでなく、「調べる力・まとめる力」も身につけることができます。(原則として「お預かり・不登校支援」での実施)

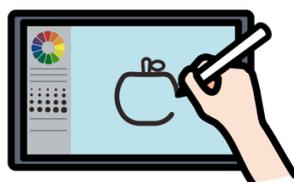
[(4) たのがくのモノづくり]



ペーパークラフトやプラモデルなどを組み立て、レジンでのアクセサリ作りなどを通して、手指の巧緻性を高めるだけでなく、「説明書を読んで想像する力」・「見通しを立てて考える力」・「空間での位置関係を把握する力」・「集中して取り組む姿勢」などを養い、さらには「物を作って出来上がった時の達成感や喜び」も体験することができます。

(原則として「お預かり・不登校支援」での実施・実費のみご負担ください)

[(5) たのがくのお絵描き]



色鉛筆や色ペンを使って画用紙に描くだけでなく、iPad と Apple Pencil を使用して、デジタルでもお絵描きを楽しむことができます。絵を描くことが得意な子どもさんはもちろんのこと、絵を描くことが苦手な子どもさんでも、取り込んだ画像をトレースすることによって、気軽に絵画・イラスト作成などを楽しむことができます。

また、デジタルを活用することにより、デジタルパレットで無限に色を作り出して塗ることができたり、画材道具の事前準備や片づけをしったりする必要もないため、手軽に取り組むことができます。(原則として「お預かり・不登校支援」での実施)

たのがくに入るには？

たのがく公式 LINE



たのがく入塾までの流れ

たのがく公式 LINE から無料体験のお申し込み

保護者様との面談日調整

保護者様との面談実施(1回目)
子どもさんの困難・お悩みなどをお聞きします。また「たのがく」について詳しくご説明をさせていただきます。
(必要に応じて「各種検査実施日・子どもさんの初来塾日」などを調整)

子どもさんの来塾(確認の実施や各種支援の開始)
※1ヶ月間(最大4回分)は無料体験とさせていただきます。

保護者様との面談日調整

保護者様との面談実施(2回目・無料体験終了の頃)
確認テストの結果や学習の進捗状況・支援中のご様子などを元に、子どもさんの現状や今後の見通し、今後の具体的な支援方法などについてお話をさせていただきます。(「無料体験のみで終了」または「継続して通塾」をご選択ください)

たのがく公式 LINE のご案内

たのがく公式 LINE では、「保護者様対象学習会のご案内」や「たのがくの日程に関するご案内」の配信に加え、保護者様からの欠席連絡や各種お問い合わせへの対応、そして「各種検査のお申し込み」・「個別相談のお申し込み」・「無料体験のお申し込み」なども承っております。

たのがくを十分にご活用いただくためにも、ぜひ「たのがく公式 LINE」の友達追加をお願いいたします。

たのがく公式 LINE 友達追加

